

今回の一読あれのテーマは「**つながり**」です。

SNS についてのものや家族・働く場・スポーツ・歴史など様々なシーンで、つながりがキーワードになる本を選んでみました。人と人とのつながりがあたたかく感じられる小説もあります。

お気軽に手に取ってみてください。貸出もできます！

『世界のどこでも、誰とでもうまくいく！  
「共感」コミュニケーション』 石川幸子著

日本人の潜在的コミュニケーション能力は世界最強。外国人スタッフ・お客様とのやり取りに、国際コミュニケーションを学ぶ学生さんにも！

『エモ消費  
世代を超えたヒットの新ルール』  
今瀧健登著

著者はZ世代。人々の「買う理由」になっているのは「ロコミ」「おすすめ」。全世代に向けて共感の波はどのように広がるのでしょうか？

『がんばった 15 人の徳川将軍  
読んだらきっと推したくなる!』  
房野史典著

徳川将軍たちが何を頑張って、何にくじけ、時代をどう作っていったのかわかりやすく知ることができます。歴史が苦手な人もぜひ！

『食べるってどんなこと？  
あなたと考えたい命のつながりあい』  
古沢広祐著

食べることが単に栄養を取り入れるということではなく、色々なつながりの中で命を吸収している、ということを改めて実感することができます。

『「ありがとう」があふれるお店の  
新米店長のノート』 福島雄一郎著

どこにでもあるような街の携帯電話ショップで、派遣社員出身の店長が教える“自分もまわりも幸せにする働き方”。仕事で大切なことが見えてきそうです。

『魔法をかける  
アオガク「箱根駅伝」制覇までの 4000 日』  
原晋著

おなじみの監督、元中国電力営業マンが指導者として栄光を手にするまでの笑いと涙の全記録。

『SNS の哲学 リアルとオンラインのあいだ』  
戸谷洋志著

“SNS によって成り立つ日常”を生活しているあなた自身が何者なのか？押しつけがなく自分で考えながら読み進められます。

『月の立つ林で』 青山美智子著

人と人とのつながりを描く連作短編集。ポッドキャストで流れる番組「ツキない話」が、個々の短編に重要な道具立てとなっています。

『ラジオがつないだ命  
FM 石巻と東日本大震災』  
鈴木孝也著

東日本大震災後の混乱の中、災害情報に徹した FM 石巻。ラジオ放送に助けられた被災者らの記録。

『ボールと日本人  
する、みる、つくるボールゲーム大国ニッポン』  
谷釜尋徳著

投げて、蹴って、打ってボールゲームに魅せられ続けた日本人の歴史です。